



## 新しい年のスタート

昨年は本校教育に多大なご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。  
2018年（平成30年）は戌年です。「戌」は、干支の十二支の11番目になり、その意味は「結実」と「次へのステップ」と言われています。「戌」年にふさわしく実りある一年になるよう努力したいと思いますので、今年もどうぞよろしくお祈りします。

### 心の学び

全国高校ラグビー大会が行われ、大阪府代表チーム同士の決勝戦となりました。年末年始にかけて行われるこの大会はひとつの風物詩となり、多くのファンに支えられています。

選手たちは当然頂点を目標に日々厳しい練習を行い自ら鼓舞しながら毎日を過ごしていることでしょう。一方、指導者は選手の希望を叶えるべく、自分のチームにあった練習方法を自ら編み出し指導されていると思います。

ここに、あるラグビーの有名高校の指導者の考え方を紹介します。

強いチームを築いた背景には「選手の個性をつぶさない」という指導哲学をもっているとのこと。それは、気になることがあっても、あえて細かな指示を出さず状況判断の大事さを理解させ、選手が自ら考え動けるように仕向けているそうです。

「ああしろ、こうしろ」と戦略を教えると選手は言われたことしかしなくなりがちになる。そうさせないためには「今日の練習の目的を再確認させ」常に、選手が自ら考えて動くための問いかけを欠かさない言葉かけを行っているとのこと。技術指導よりも「心の教育」を重視されていることがわかります。

「心がきれいな人間は、黙っていても自ら進んで技術を学んでいる」

一方、チームの決まりごとに「悲観的な言葉、仲間を責める言葉は禁止」というのがあるのでチーム全体が明るくきつい練習があっても心の中は「楽しい」とのことです。一人ひとりが意識して明るい楽しいチームを創造できるように気配り心配りができているなんてすばらしいと思いました。

また、どの選手も自分と他の選手との関係で自分を好きになっているので、仲間うちで問題が起きてても信頼関係があるから仲間と協力しあって解決できると確信できるのだと思いました。